



特別企画

松商学園商業科の生徒たちによる

松商ブランド「新商品開発」発表会

開催日時	平成21年1月30日（金）	19時00分～20時30分
開催場所	松商学園	参加者 20名
内容	<p>松商学園商業科の生徒による新商品企画授業で取り組んでいる「ベンチャービジネス」講座の中で学生たちの考える「松商ブランド」の商品を発表。食品を中心に発表いただきました。食品業界の皆様にも多数集まっていたいただき、実際に商品化へ向けてプロジェクトは進んでいきます。</p>	
レジュメ	<p>添付資料を参照</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. そばクレープ 2. オリジナルバンド 3. 松商麺 4. ロイヤルそば茶 5. あっぷるたい（林檎鯛） 	
その他 （新聞記事） 信濃毎日新聞社 ↓当日の様子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h3>「松本の新商品」いかが？</h3> <p>松商生徒 授業で飲料・たい焼き企画</p>  <p>松本の新たな特産品を提案する松商学園高校の生徒ら</p> <h4>プロの評価に手応え</h4> <p>松本市の松商学園高校は三十日夜、地元の食産業、商店の関係者約千人を招き、商業科三年生の三千人が考案した「松本の新商品」を提案するプレゼンテーション授業を行った。選択授業の一環で、「地域活性化」に向け、地元の特産品を高校生なりに考えられないかと、リンゴを原料にした「たい焼き」などを発案。商品化も視野に研究してきた新商品に対して「プロ」の評価を受けた。</p> <p>生徒たちは半年間の授業で、商品のコンセプトや顧客層、利益が得られぬ価格帯などを研究。松本青年会議所が地域を担う人材を育てようと設けた「松本政経塾」が生徒の取り組みに賛同し、発表の場を整えた。生徒は五班に分かれ、プロエグゼクティブ企業家説明、牛乳・豆乳とそばを組み合わせた飲料、校名になぞを具材にしたカップラーメンなどの商品を提案した。</p> <p>出席者からは「材料を変えたい」との助言や、実際に試作品を用意したい焼きについては原価を下げるとの味が落ちるとの苦言もあった。地元食産者からは、今後の商品化に向けて前向きに研究したいとの感想も寄せられた。発表者の一人、窪田博之君18は「厳しい意見もあったけれど、自分たちのためにブレゼンを終えて自信にもなりました」と手応えを感じていた。</p> </div>	

